



## 2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年10月30日

上場会社名 株式会社電通総研

上場取引所 東

コード番号 4812 URL <https://www.dentsusoken.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩本 浩久

問合せ先責任者 (役職名) エグゼクティブオフィス (氏名) 榎木 直人 TEL 03-6713-6160

配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無: 有

決算説明会開催の有無: 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年12月期第3四半期の連結業績(2025年1月1日~2025年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第3四半期	121,151	7.9	16,277	12.5	16,892	17.2	11,716	16.3
2024年12月期第3四半期	112,231	6.6	14,463	△7.0	14,413	△8.2	10,074	△7.0

(注) 包括利益 2025年12月期第3四半期 11,611百万円 (14.3%) 2024年12月期第3四半期 10,156百万円 (△8.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第3四半期	180.04	-
2024年12月期第3四半期	154.83	-

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期第3四半期	158,326	95,204	60.1
2024年12月期	147,331	91,194	61.9

(参考) 自己資本 2025年12月期第3四半期 95,204百万円 2024年12月期 91,194百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	-	54.00	-	54.00	108.00
2025年12月期	-	58.00	-	-	-
2025年12月期(予想)	-	-	-	58.00	116.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

## 3. 2025年12月期の連結業績予想(2025年1月1日~2025年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	168,000	10.1	23,000	9.3	23,500	11.4	16,200	7.2	248.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

## ※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年12月期3Q	65,182,480株	2024年12月期	65,182,480株
② 期末自己株式数	2025年12月期3Q	123,317株	2024年12月期	107,821株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年12月期3Q	65,076,196株	2024年12月期3Q	65,073,187株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

なお、上記予想に関する事項は4ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(会計方針の変更に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

単位：百万円

	2024年12月期 第3四半期累計	2025年12月期 第3四半期累計	増減	前年同期比
売上高	112,231	121,151	+8,920	107.9%
営業利益	14,463	16,277	+1,814	112.5%
営業利益率	12.9%	13.4%	+0.5p	—
経常利益	14,413	16,892	+2,479	117.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	10,074	11,716	+1,642	116.3%

当第3四半期連結累計期間（2025年1月1日～2025年9月30日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善に伴い、緩やかな回復基調が続きました。当社グループを取り巻く事業環境についても、企業のデジタル投資意欲は強く、堅調に推移しました。一方、今後については、各国の政策動向や金融資本市場の変動、地政学リスク等による国内経済への影響が懸念され、先行きは不透明な状況にあります。

かかる状況のもと当社グループは、当連結会計年度より、長期経営ビジョン「Vision 2030」の実現に向けて第2回目の位置付けとなる3か年の中期経営計画「社会進化実装 2027」をスタートさせました。タイトルに掲げた「社会進化実装」は、当社グループが2024年に制定した事業コンセプトの名称で、シンクタンク、コンサルティング、システムインテグレーション機能の連携により、課題の提言からテクノロジーによる解決までの循環を生み出すという、事業の新しい形をまとめたものです。当中期経営計画では、3つの基本方針「企業変革・社会変革起点での価値提供」「ソリューションの強化」「経営基盤の強化」と7つの重点施策に加え、5つの定量目標（2027年12月期の売上高2,100億円、営業利益315億円、営業利益率15.0%、ROE18.0%以上、就業人員数6,000名）を設定しています。前中期経営計画で拡充した事業基盤を生かし、これまで以上に積極的なチャレンジを通して、さらなる成長を目指してまいります。

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高121,151百万円（前年同期比107.9%）、営業利益16,277百万円（同112.5%）、経常利益16,892百万円（同117.2%）、親会社株主に帰属する四半期純利益11,716百万円（同116.3%）となりました。

売上高については、ビジネスソリューションおよびコミュニケーションITセグメントが牽引し増収となりました。利益についても、ソフトウェア製品に関する無形固定資産の除却に伴う原価増や販売費及び一般管理費の増加等があったものの、主として増収効果により、すべての段階利益で増益となりました。

当中期経営計画における成長戦略の実践に向けて、第1四半期連結会計期間より、報告セグメント配下の事業区分を変更しました。これに伴い、前第3四半期連結累計期間の実績について、変更後の区分に組み替えた数値を記載し、比較・分析しております。

報告セグメント別の売上高、営業利益および営業の状況は以下のとおりです。

■報告セグメント別売上高および営業利益

単位：百万円

報告セグメント	2024年12月期 第3四半期累計			2025年12月期 第3四半期累計			増減額	
	売上高	営業利益	営業 利益率	売上高	営業利益	営業 利益率	売上高	営業利益
金融ソリューション	25,592	3,243	12.7%	25,240	3,068	12.2%	△352	△175
ビジネスソリューション	17,370	3,671	21.1%	20,317	4,871	24.0%	+2,947	+1,200
製造ソリューション	44,578	5,938	13.3%	45,644	5,771	12.6%	+1,066	△167
コミュニケーションIT	24,690	1,609	6.5%	29,949	2,565	8.6%	+5,259	+956
合計	112,231	14,463	12.9%	121,151	16,277	13.4%	+8,920	+1,814

■報告セグメント別営業の状況

金融ソリューション

金融業のビジネス変革および一般事業会社の金融サービス機能活用を支援するソリューションを提供しています。

当第3四半期連結累計期間は、受託システム開発案件や、日銀決済管理システム「Stream-R」および次世代融資ソリューション「BANK・R」の販売・導入案件が拡大したものの、会計領域におけるソフトウェア商品アドオン開発案件が減少したことにより、減収減益となりました。

ビジネスソリューション

人事・会計を中心に企業の経営管理業務の高度化を支援するソリューションを提供しています。

当第3四半期連結累計期間は、連結会計ソリューション「STRAVIS」の導入案件が商社向けを中心に拡大したことに加え、統合人事ソリューション「POSITIVE」の導入案件がサービス業や保険業向けに拡大したことにより、増収増益となりました。

製造ソリューション

製造業のビジネスプロセスおよびバリューチェーンの高度化を支援するソリューションを提供しています。

当第3四半期連結累計期間は、SAPソリューションの導入案件が減少したものの、CAEやPLMソリューションの販売が輸送機器業向けに拡大したことにより、増収となりました。利益については、収益性の高いソフトウェア商品アドオン開発案件が減少したことに加え、人員増に伴い人件費が増加したことにより、減益となりました。

コミュニケーションIT

企業のマーケティング変革および官庁や自治体のデジタル改革を支援するソリューションを提供しています。

当第3四半期連結累計期間は、公共向けおよび電通グループ向けビジネスが拡大したことに加え、前第3四半期連結会計期間から連結対象となった株式会社ミツエリンクスの貢献があったことにより、増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債および純資産の状況

① 資産

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して10,995百万円増加し、158,326百万円となりました。流動資産は、契約負債の増加や売上債権の回収が進んだことにより資金が増加したほか、顧客向けサービスのためのサブスクリプション契約・保守契約に係る前渡金が増加したこと等により、前連結会計年度末と比較して10,735百万円増加し、129,793百万円となりました。固定資産は、主に繰延税金資産の増加等により、前連結会計年度末と比較して260百万円増加し、28,533百万円となりました。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末における総負債は、前連結会計年度末と比較して6,984百万円増加し、63,121百万円となりました。流動負債は、主に仕入債務の増加等により、6,916百万円増加し、59,460百万円となりました。固定負債は、前連結会計年度末と比較して69百万円増加し、3,661百万円となりました。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、剰余金の配当があったものの、主に当社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加した結果、前連結会計年度末と比較して4,010百万円増加し、95,204百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想につきましては、2025年7月30日に発表した予想数値に変更はありません。

※予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は業況の変化等により予想数値と異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,354	5,601
受取手形、売掛金及び契約資産	33,560	32,053
商品及び製品	106	65
原材料及び貯蔵品	14	15
前渡金	21,629	28,413
預け金	55,961	61,717
その他	1,430	1,925
流動資産合計	119,058	129,793
固定資産		
有形固定資産	3,572	3,634
無形固定資産		
のれん	5,532	5,040
その他	9,164	8,716
無形固定資産合計	14,696	13,757
投資その他の資産		
投資その他の資産	10,005	11,143
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	10,004	11,142
固定資産合計	28,273	28,533
資産合計	147,331	158,326
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,083	21,446
未払法人税等	3,721	3,477
契約負債	18,939	19,574
受注損失引当金	98	14
資産除去債務	—	20
株式給付引当金	256	—
その他	14,445	14,926
流動負債合計	52,544	59,460
固定負債		
退職給付に係る負債	103	112
資産除去債務	954	944
株式給付引当金	—	113
その他	2,534	2,490
固定負債合計	3,592	3,661
負債合計	56,137	63,121

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,180	8,180
資本剰余金	15,270	15,270
利益剰余金	66,858	71,276
自己株式	△389	△692
株主資本合計	89,920	94,034
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	222	284
為替換算調整勘定	1,051	885
その他の包括利益累計額合計	1,274	1,169
純資産合計	91,194	95,204
負債純資産合計	147,331	158,326



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
売上高	112,231	121,151
売上原価	71,807	77,350
売上総利益	40,424	43,801
販売費及び一般管理費	25,961	27,524
営業利益	14,463	16,277
営業外収益		
受取利息及び配当金	109	343
持分法による投資利益	—	98
為替差益	—	74
保険配当金	51	22
助成金収入	17	31
投資事業組合運用益	—	20
雑収入	20	60
営業外収益合計	199	650
営業外費用		
支払利息	27	29
持分法による投資損失	79	—
為替差損	86	—
投資事業組合運用損	48	—
雑損失	7	5
営業外費用合計	248	34
経常利益	14,413	16,892
特別利益		
投資有価証券売却益	320	—
特別利益合計	320	—
特別損失		
減損損失	25	—
特別損失合計	25	—
税金等調整前四半期純利益	14,709	16,892
法人税、住民税及び事業税	5,387	6,191
法人税等調整額	△753	△1,014
法人税等合計	4,634	5,176
四半期純利益	10,074	11,716
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,074	11,716

## (四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
四半期純利益	10,074	11,716
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△51	61
為替換算調整勘定	133	△166
その他の包括利益合計	81	△104
四半期包括利益	10,156	11,611
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,156	11,611

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「グローバル・ミニマム課税制度に係る法人税等の会計処理及び開示に関する取扱い」の適用)

「グローバル・ミニマム課税制度に係る法人税等の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第46号2024年3月22日。以下「本実務対応報告」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

なお、本実務対応報告第7項を適用しているため、当第3四半期連結財務諸表においては、グローバル・ミニマム課税制度に係る法人税等を計上していません。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2024年1月1日至2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				
	金融 ソリューション	ビジネス ソリューション	製造 ソリューション	コミュニ ケーション IT	合計
売上高					
外部顧客への売上高	25,592	17,370	44,578	24,690	112,231
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	25,592	17,370	44,578	24,690	112,231
セグメント利益	3,243	3,671	5,938	1,609	14,463

(注) セグメント利益の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「コミュニケーションIT」セグメントにおいて、当第3四半期連結累計期間に株式会社ミツエーリンクスの全株式を取得し連結の範囲に含めたことに伴い、のれんが発生しております。当該事象によるのれんの増加は、当第3四半期連結累計期間においては、5,760百万円です。

なお、のれんの金額は、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映された後の金額であります。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				
	金融 ソリューション	ビジネス ソリューション	製造 ソリューション	コミュニ ケーション IT	合計
売上高					
外部顧客への売上高	25,240	20,317	45,644	29,949	121,151
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	25,240	20,317	45,644	29,949	121,151
セグメント利益	3,068	4,871	5,771	2,565	16,277

(注) セグメント利益の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より中期経営計画における成長戦略の実践に向けて、報告セグメント配下の事業区分を変更しております。

これに伴い、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報についても、変更後の区分に組み替えた数値を記載しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)  
該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)  
該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	2,415百万円	2,918百万円
のれんの償却額	265百万円	491百万円